

地域の菓子文化を未来につなぐM&Aの仲介について

2025年9月24日

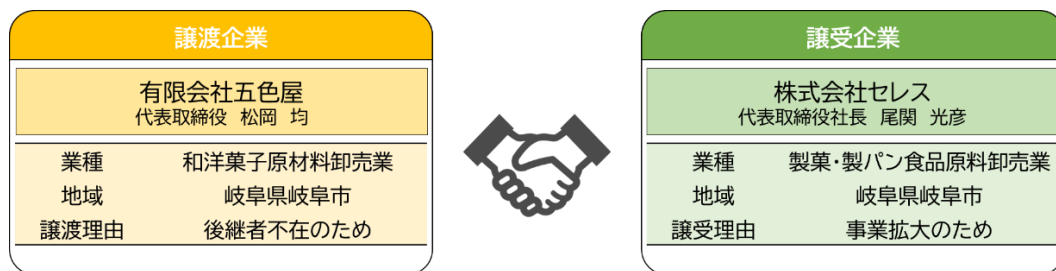
NOBUNAGAサクセッション 株式会社

十六フィナンシャルグループのNOBUNAGAサクセッション株式会社（代表取締役社長 角 知篤、以下「当社」といいます。）は、和洋菓子原材料の卸売を手掛ける有限会社五色屋（以下「五色屋」といいます。）と製菓・製パン食品原料の卸売を展開する株式会社セレス（以下「セレス」といいます。）とのM&Aを仲介いたしましたので、下記のとおりお知らせします。

当社は、今後も地域企業の円滑な経営承継を支援し、地域経済の活性化と持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

記

【M&A概要】



五色屋は、岐阜地域で創業から50年以上の歴史を持ち、地元の和菓子製造販売会社を主要顧客として、長年に亘り原材料供給を通じて地域の菓子文化を支えてきました。代表を務める松岡社長は、後継者不在という課題を抱えるなかで、長年の取引先顧客への責任を果たし、会社を存続させる最善の道として、この度M&Aを決断されました。

セレスは、1972年の創業以来、レストラン・洋菓子店・ベーカリー向けに、自家焙煎コーヒーや製菓製パン材料など多岐にわたる商品を取り扱う総合食品卸として、店舗設計や厨房提案まで含めた幅広いサポートを行っています。

本件M&Aにより、五色屋が長年培ってきた和菓子分野での知見・信頼と、セレスが持つ洋菓子・ベーカリー分野での広範なノウハウを融合させることにより、和洋の垣根を越えた提案力を高め、地域の菓子業界全体のさらなる発展に貢献することを目指します。

【成約インタビュー】

<五色屋 松岡社長>

後期高齢者となったことをきっかけに、後継者不在や長年お取引いただいている取引先への責任をより切実に考えるようになりました。NOBUNAGAサクセッションには、経営者が地元企業と地域の活性化に深い情熱を持っていらっしゃる素晴らしい会社を紹介してもらい感謝しています。

<セレス 尾関社長>

五色屋のように地元の和菓子屋や食品関連自業者と関連を持つ地域に根ざした老舗企業は、地域文化を支える大切な存在です。岐阜市内は人口密度も高く地域の企業との関わりも深い。私たちは、このような地元企業の存続を支援することで地域経済の発展に貢献していきたいと考えています。



(左：セレス 尾関社長、右：五色屋 松岡社長)

以 上

【ご照会先：十六フィナンシャルグループ（広報） TEL 058-266-2511】